

《 数日間限定の
自然観察会 》

普段は公開されていないエリアを巡る

“オオウメガサソウ”ガイドツアー開催

2018年6月2日(土)～6月10日(日)〈休園日6月4日を除く〉

- 時間／10:00～15:00(14:00最終受付、所要時間約50分)
- 定員／各回30名(当日受付)
- 参加費／無料
- 協力／茨城生物の会、里山パートナー
- 場所／ひたちなか自然の森
- 受付／西口広場休憩所

多くの希少な植物が生育し、その生態系を守るために一部利用を制限している『ひたちなか自然の森・特別保護区』では、オオウメガサソウの花が少しずつ咲き始めています。開花に合わせ、この森の自然環境を守る里山パートナーが、その魅力や生育環境を皆様にご案内します。“森の妖精”と呼ばれる可憐なピンク色の花は、この時期にしか見ることができません。



動画もご覧ください。

※公園HPトップページ
『海浜公園チャンネル』
のバナーからもご覧頂けます。



撮影／2017年6月4日

ツアーで観察できるその他の植物

◆アカマツの林床に生育する常緑低木

オオウメガサソウは、ツツジ科の常緑低木で、高さ10～15cm。アカマツの林床で砂質土壌に生育しています。梅の花に似た淡いピンク色の花を笠のように下向きに咲かせるため「梅傘」の名が付き、よく似た「ウメガサソウ」より大きいことから「オオウメガサソウ」と名付けられました。例年6月中下旬に花を咲かせますが、今年は気温が高いため開花が早まる見込み。ツアーでは他にも、1本の花茎に1個の花(稀に2個)しかつけない「ウメガサソウ」や、常緑多年草で白い花を咲かせる「イチヤクソウ」も開花状況によりご覧いただけます。



ウメガサソウ
ツツジ科ウメガサソウ属



イチヤクソウ
ツツジ科イチヤクソウ属

◆準絶滅危惧に指定され、本公園が南限地

北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県、岩手県および本公園など、限られた場所に自生。茨城県レッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA類、環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧に指定されており、本公園が日本の南限地とされています。

◆公園ボランティア“里山パートナー”が保護

希少な生物が生育する里山林の保全を目的に、平成22年に設立された“里山パートナー”。オオウメガサソウ生育地の調査活動をはじめ、マツの移植作業や広葉樹の伐採など、生育環境を維持するために年間を通して活動。本公園の貴重な自然を守るために尽力しています。



里山パートナー活動状況(2017年12月16日撮影)

Information

毎週土・日・祝には、
「沢田湧水ガイドツアー」を開催中！

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・田代
TEL:029-265-9001(報道関係者の方は029-265-9004・9005迄) FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <http://www.hitachikaihin.jp>